



参考資料

- 1 新潟県新生児聴覚検査の手引き 新潟県
- 2 新生児聴覚スクリーニングマニュアル 一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
- 3 「リファー(要再検査)となったお子さんのお母さんと家族の方へ」(改訂版)
全国早期支援研究協議会

※1と2については、インターネットで見ることができます。

NPO法人きこえエール新潟

相談申込ダイヤル 080-3211-3700

(9:00-19:30)

相談申込アドレス kikoe_soudan@yahoo.co.jp

事務局 950-3373 新潟市北区須戸3丁目3番地14

E-mail kikoe_yell@yahoo.co.jp



ホームページ



相談Line

一日たってもメールの返信がない場合は、相談ダイヤルに電話がショートメールでご連絡ください

赤ちゃんの お耳のはなし — 片耳難聴のこと —



NPO法人きこえエール新潟

目次

はじめに

お子さんのお誕生、おめでとうございます。

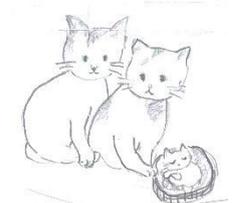
愛情をたっぷり注いで育てたいと願っておられることと
思います。

そんなときに耳鼻科の医師から片耳難聴と言われ、もっ
と詳しく知りたい、何か情報が欲しいと思っていらっしゃ
ることでしょう。

この「赤ちゃんのお耳のはなし―片耳難聴のこと―」
には、聴力検査について、医療機関を受診するときに知っ
ておくの良いこと、片耳難聴の人の聞こえ方、赤ちゃんの
の過ごし方など、できるだけ読みやすく載せてあります。

この冊子が、ご家族に少しでも安心をお届けできれば幸
いです。赤ちゃんのご家族の笑顔のために、きこえエール
新潟もみなさまにそっと寄り添いたいと願っています。

(1) 耳の仕組みと難聴	2
(2) 音の大きさと難聴の程度	4
(3) 医療機関受診の必要性和心得	6
(4) 聴力検査について ―赤ちゃんのときの検査― ―幼児期の検査―	8 10
(5) 片耳が聞こえにくいとどんなふうに聞こえるの？	12
(6) こんなことに気を付けましょう	14
(7) どんなふうに接したらいいの？	16
(8) 赤ちゃんのきこえを見守ろう	18
(9) 相談しましょう！	20



(1) 耳の仕組みと難聴

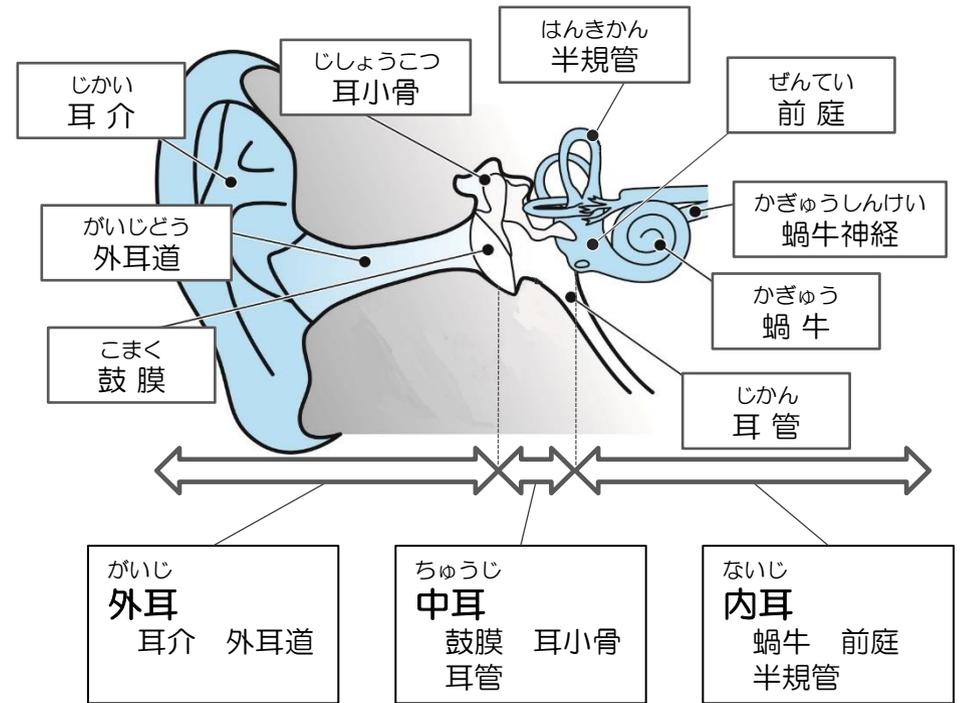
- 音は空気の振動です。
- 音が外耳道を通り鼓膜と耳小骨を振動させ、蝸牛に入ります。
- 蝸牛で振動は電気信号に変わり、蝸牛神経を通して脳に届きます。
- 脳に信号が届くと、私たちは「聞こえた」と感じます。
- 脳はいろいろな音や言葉を聞いて、それを覚えていきます。

音が脳に届くまでの間にトラブルがあると、難聴（聞こえにくい状態）になります。

片耳難聴とは、一方の耳が健聴でもう片方に難聴がある場合を言います。

耳の中はこうなっています

耳の構造図：
リオネット補聴器提供



でんおんなんちょう
伝音難聴

外耳や中耳に原因があります。

かんおんなんちょう
感音難聴

蝸牛から脳までの間に原因があります。

こんごうせいなんちょう
混合性難聴

伝音難聴と感音難聴、両方の原因をあわせもつ難聴です。

どこでトラブルが起きたかによって、3つの種類に分けます。

(2) 音の大きさと難聴の程度

音の大きさや聴力は
デシベル (dB) という単位で表します。

騒音	会話(1m離れて)	(dB)
	会話(1m離れて)	0
	(オーディオグラムの最小可聴値)	10
	 ささやき声	20
深夜の郊外	 静かな会話	30
静かな事務所	 普通の会話	40
 静かな車の中		50
 騒がしい事務所	 大声の会話	60
 せみの声		70
 電車の中	 呼び声	80
 電車の通るガード下	 30cmの近さの叫び声	90
 ジェット機の爆音		100
	 痛みを感じる (30cmの近さのサイレン)	110
		120
		130

出典 「こどもの難聴」医学編 岡本途也著

聴力

どれくらい小さい音が聞き取れるかを調べ、その音の大きさをその人の聴力とします。

数字が大きくなるほど、難聴の程度が重くなります。

難聴の程度

※ 新生児聴覚スクリーニング
マニュアルによる。

0dB以上 25dB未満	健聴
25dB以上 40dB未満	軽度難聴
40dB以上 70dB未満	中等度難聴
70dB以上 90dB未満	高度難聴
90dB以上	重度難聴

この他に、高い音の難聴と低い音の難聴では聞こえ方が異なります。また、同じ聴力でも言葉の聞き取りなどに差がある場合もあります。

(3) 医療機関受診の必要性和心得

耳鼻科で、「定期的に聴力検査に来てください」と言われたと思います。

どうしてそんなに頻りに検査が必要なのだろうかと思うかもしれません。それは、聞こえている方の耳が中耳炎になったりおたふく風邪になったりしてきこえが悪くなると、言葉の発達などお子さんの成長に大きく影響するからです。

定期的に聴力検査を受けるのは、片方の耳がしっかり聞こえているかどうかを確認する、難聴の進行がないか、聞こえている方の耳に聴力低下がないか、言葉がちゃんと伸びているのかなどを確認するためです。



耳鼻科で行った聴力検査結果はもらって帰ることもできます。ファイルに綴じて保管、整理しておきましょう。

赤ちゃんの場合には、そのときの体調や機嫌でうまく検査ができないこともありますので、経過を残しておくとは後から参考になります。

落ち着いて振り返ってみると、耳鼻科の医師の説明が分からなかったことに気が付くことがあると思います。そんなときは、メモをしておいて、次の診察時に質問をしましょう。

日々のきこえや言葉の発達を見て、少しでも不安があったら、定期的な受診以外の日でも良いので、すぐに耳鼻科に相談しましょう。



定期的な聴力検査は
とても大事なのね。
きちんと検査に行くわ。

(4) 聴力検査について — 赤ちゃんのときの検査 —

すでにいくつかの詳しい聴力検査をされたと思います。検査は大きく分けて2種類あります。

1) イヤホンなどで音を聞かせ、脳波を測る検査 (ABR・ASSR)

左右別々に聞こえているかどうか測ることができます。

ABR 聴性脳幹反応	赤ちゃんを眠らせて行うことが多いです。イヤホンなどで音を聞かせて脳波を調べ、聞こえているかどうか調べます。
ASSR 聴性定常反応	ABRと同じように脳波を調べる検査ですが、低音から高音までの反応を調べるので、大体の聴力を予想することができます。

ABR
ASSR



2) 赤ちゃんに音を聞かせ、音への反応を見る検査 (BOA・COR)

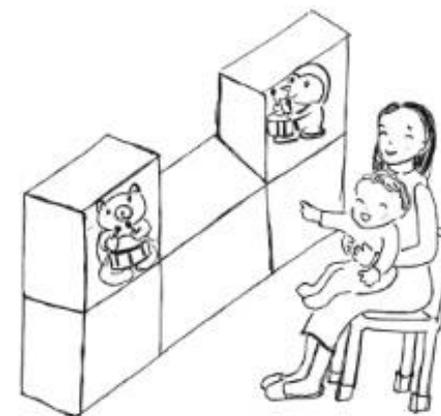
左右別々に測ることはできません。

BOA 聴性行動反応 聴力検査	赤ちゃんに楽器やおもちゃなどの音を聞かせ、びっくりしたり振り向いたりする音への反応で検査をします。
COR 条件詮索反応 聴力検査	生後6か月くらいになってから行う検査です。音を出すと同時に、機械に入っているおもちゃなどに光を当てて見せ、音が聞こえたら何かが見えるという条件付けをします。その後、音だけでおもちゃや音の出る方を見るかどうかで検査をします。

BOA



COR



(4) 聴力検査について — 幼児期の検査 —

お子さんが検査音を聞いたときに自分で「きこえた！」と意思表示ができるようになると、より正確な聴力を測ることができるようになります。



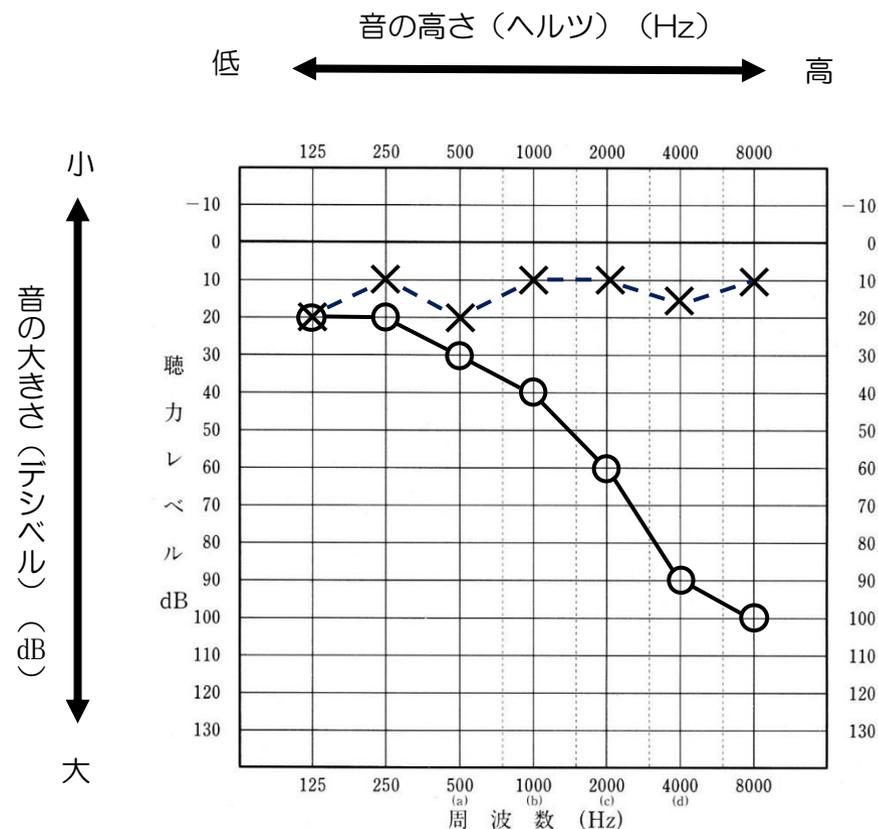
遊戯聴力検査

基本的には大人と同じ聴力検査です。スピーカーの音を聞く検査とヘッドホンから音を聞く検査です。大人と違うのは、ボタンを押すと新幹線が回るとか、ボタンを押す代わりに聞こえたらボールをかごに入れるなど遊びの要素を取り入れることで、子どもが飽きずに検査を続けられるように工夫されています。

お子さんの集中力や体調などにより、反応が変わることもありますので、継続的に繰り返し検査を行い、より正確な値が取れるようにします。

聴力検査の結果の見方（オーディオグラム）

聴力検査の結果は、どの高さの音がどれくらいの大きさを聞こえたかを下のようなオーディオグラムで表します。



○は右耳、×は左耳を表します。

これは、右耳の高音に難聴があり、左耳は正常聴力ということを表します。

(5) 片耳が聞こえにくいと どんなふうに聞こえるの？

片耳が聞こえている場合、静かなところで正面から話せば、普通の声の大きさと十分聞こえます。お父さん、お母さんが話しかけてくれる声や周囲の音は、しっかりと聞こえています。

片耳が聞こえにくいと、
こんなことがあります。

赤ちゃんの頃は、周りから見ても片耳が聞こえにくいことが感じられないかもしれませんが、成長するにつれて次のような不便を感じるようになることがあります。

- にぎやかなところでは聞きづらい。
- 音がどこから聞こえるか分かりにくい。
- 聞こえにくい側から話しかけられても気付かないことがある。
- 聞き返しが多い。
- よく聞こうとして疲れやすい。

全て当てはまるわけではありません。
周りから不便さを分かってもらいにくいときもあります。

片耳が聞こえないと
不便なことがあるのね。



言葉を覚えられるの？

- 赤ちゃんは、周りの人の言葉をたくさん聞いて自分でも言葉を覚えていきます。
- 片耳が聞こえにくくても、言葉を覚えるのに大きな遅れが生じることは通常ありません。
- 大勢が話しているところから自然に言葉を聞き取って覚えるのが少し苦手です。
- 静かなところで正面から話すなど、聞きやすいやり方でたくさんお話をしてあげてください。



はっぱだね。
ゆらゆら
しているね。

(6) こんなことに 気を付けましょう

聞こえる方のお耳を大切にしましょう。

- 聴力の変動がないかを調べるため、定期的に耳鼻科を受診して、聴力検査を受けましょう。
- おたふく風邪にかかると聴力が低下する場合があります。予防接種を受けておくことはとても良い方法です。副作用など心配なことがあれば、お医者さんに相談してみましよう。
- 小さいときにはあまりないかもしれませんが、騒音にさらされる、長時間ヘッドホンを使うなどのことは避け、耳を痛めないようにしましょう。

「いつもと違う？」と感じたら、
早めに受診をしましょう。

- 聞こえている側から呼んでも気付かない、いつもより反応が悪い、テレビなどの音を大きくしたがる、言葉だけの指示だと理解できない（バイバイ、チョウダイなど身振りを付けないと分からないなど）などの様子があったら、予約前であっても念のため受診しましょう。

- 聞こえている方の耳が中耳炎になると聞こえにくくなります。子どもが痛がらない中耳炎もあります。気付かずにいると聴力低下や言葉の発達への影響があります。早めに治療しましょう。

お子さんと楽しくお話ししましょう

- 聞き返しが多いかもしれません。「何回聞いてもいいんだよ」という気持ちで答えてあげましょう。
- 「うるさい所では聞き取りにくい」ということを理解し、正面から顔を見て、はっきりと話してあげましょう。



(7) どんなふうに 接したらいいの？

赤ちゃん一人一人は個人差も大きく、成長のスピードも様々です。標準的な発達を目安はありますが、それにとらわれ過ぎないようにしましょう。

聞こえているお子さんでも難聴のお子さんでも、愛情をもって話しかけてあげるのが大事であることは同じです。



目を見てしっかりと話しかけて。

〇〇ちゃん、
〇〇ちゃん、
かわいいなー。

おむつ替えて
さっぱりしたね。
よかったね。



どうしたの？
ママはここよ。
だいじょうぶ
だいじょうぶ。



すりすり



キャッ
キャッ

ゆーら、
ゆーら、

あっはっはー、
おもしろかったねー。
もう1回やろうか。
ゆーら、ゆーら、
うれしかったねー。

ウマウマ
そう、おいしいの。
よかったね。
上手に飲むねー。
いっぱい飲んで
大きくなって。



ジュン
ジュン

クスンだって。
くしゃみも
かわいいなあ。

あーあー
クスンッ
あーあー



ほんとにかわいい
よね。
ご機嫌ですね。
ありがとうございます
ですね。

(8) 赤ちゃんのきこえを見守ろう

きこえの反応は全体的な発達の中で見ていく必要があります。

以下にきこえの発達について記載しましたが、発達には個人差がありますので、参考程度にしてください。

このとおりでないこともたくさんあります。大事なことは、たっぷりと愛情を注ぎ、たくさん話しかけたり、いろいろな音を聞かせてあげたりすることです。

きこえの発達 参考：「新生児聴覚スクリーニングマニュアル」

- 突然の音にビクッとしたりまぶたをギュッと閉じたりする。
- 大きな音にビクッと手足を伸ばしたり、泣き出したりする。
- 泣いているとき、または動いているときに声をかけると、泣き止むかまたは動作を止める。

0～1か月



2～3か月

- 眠っていて急に鋭い音がすると、ビクッと手足を動かしたりまばたきをしたりする。
- 話しかけると「アー」とか「ウー」とか声を出して喜ぶ（またはニコニコする）。
- 怒った声や優しい声、歌、音楽などに不安そうな表情をしたり、喜んだり、または嫌がったりする。



4～5か月

- 日常のいろいろな音に関心を示す（振り向く）。
- 名を呼ぶとゆっくりとではあるが顔を向ける。
- 人の声（特に聞きなれた母親の声）に振り向く。
- 不意の音や聞きなれない音、珍しい音にはっきりと顔を向ける。
- 両親などよく知っている人の声を聞き分ける。

- テレビやラジオの音がし始めると、すぐにそちらを向く。
- 話しかけたり歌を歌ってやったりすると、じっと顔を見ている。
- 「ダメッ！」などという強い声や、近くで鳴る突然の音に驚く（または泣き出す）。

6～7か月

8～9か月

- 機嫌良く声を出しているとき、まねてやると、またそれをまねて声を出す。
- 身振りなしに「オイデ」「バイバイ」などの言葉を理解して行動する。
- 名前を呼ぶと振り向く。
- 音楽を聞かせたり歌を歌ってやったりすると、手足を動かして喜ぶ。



- 「ママ」「マンマ」「ネンネ」などの言葉をまねて言う。
- 「……チョウダイ」と言うと、そのものを手渡す（または手渡そうとするが手渡さない）。
- 「……どこ？」と聞くとそちらを見る。
- 簡単な言葉による言い付けや要求に応じて行動する。

10～12か月

(9) 相談しましょう！

子どものきこえ相談室

「子どものきこえ相談室」は県内4か所にあり、0歳からの難聴のお子さんとそのご家族の相談に応じています。市外の方も相談できます。お近くの相談室にご相談ください。

- ◆ きこえにかかわる様々な疑問にお答えし、子育ての相談を行います。
- ◆ 医療機関と連携し、必要に応じて定期的、継続的に聴力測定を行います。
- ◆ 小学校入学までの支援を継続的に行います。

きこえ相談室のスタッフは難聴のあるお子さんの教育を専門に行っている聾学校の教員です。

不安なときには、きこえエール新潟が予約や情報提供などのお手伝いをします。安心して相談してください。

個人情報などの秘密は守られます。



連絡先

相談は無料です

市外の方も相談できます。お近くの相談室にお申し込みください。

名 称	相 談 会 場 ・ 申 込 窓 口	
新潟子どものきこえ相談室 (月～金)	新潟県立新潟よつば学園 新潟市東区竹尾2丁目2番1号 電話 025-250-0374 e-mail : mimisien@niigatayotsuba-gk.nein.ed.jp	
長岡子どものきこえ相談室 (月～金)	新潟県立長岡聾学校 長岡市水道町2-1-13 電話 0258-38-0191 e-mail : tyounou@nagaokarou.nein.ed.jp	
魚沼地域 子どものきこえ相談室 (月1回)	会 場	新潟県立長岡聾学校小出分教室 (新潟県立小出 特別支援学内) 魚沼市十日町1738-2 電話 025-792-5462
	申 込 窓 口	魚沼市子育て世代包括支援センター 電話 025-792-9204 (直通) 南魚沼市保健課 電話 025-773-6811 (直通) 湯沢町健康増進課 電話 025-784-3149 (直通)
上越地域 子どものきこえ相談室 (月1回)	会 場	上越教育大学 上越市山屋敷町1番地 電話 025-521-3672
	申 込 窓 口	上越市健康づくり推進課 健診・相談係 電話 025-520-5843 (直通) 妙高市健康保険課内こんにちはすくすく窓口 電話 0255-74-0065 (直通) 糸魚川市こども課 親子健康係 電話 025-552-1511 (代表)